

Ⅲ. 管理的対策で困っていることは？(ITで支援できそうなこと)

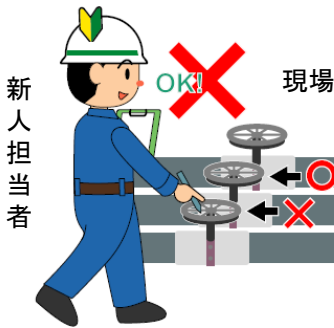
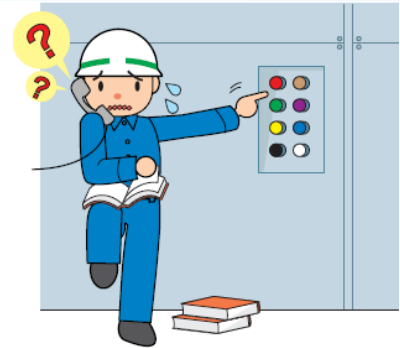
設備対策後もリスクが残り、管理的な対策(人間の注意力に依存)をすることになりますが・・・実際はいろいろな問題に直面しますし、人間の注意力や緊張維持には限界があります。



作業前に、正しく安全な作業手順を作ろうとしますが、過去の教訓やノウハウがなかなか見つからず、安全ポイントや法遵守項目が漏れる



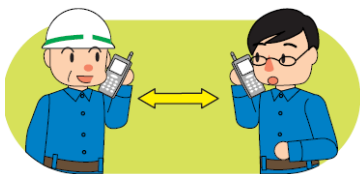
作業現場に標準書やマニュアル図面などを抱えていくのも大変だし、マニュアルを持参しても、見ながらだと両手が自由に使えない。確認不十分でつい「だろう作業」をしてしまう。



設備点検で、紙での記録簿をたどっても故障の予兆がつかみにくいところへ、似たような設備を取り違えて点検したりして、故障未然防止ができず、危険な復旧作業を招く



電話で問い合わせるも、マニュアル確認に手間取ったり、現場の様子が伝わりにくく、誤操作などを招く



作業連絡をとりたいのに話し中で割り込めず、一斉放送マイク箇所は遠いしイライラ。連携が取れない。緊急連絡ができず危険退避が遅れる。



現場事故状況をあわてて音声で説明するが受け側は違うイメージで受け取り、誤った指揮や、迅速な復旧ができず危険が拡大